

1月29日の 第1回全町避難訓練 アンケート集計結果を お知らせします

全町避難訓練の参加者は約 3,500人でした。
訓練のご参加ならびにアンケートへのご協力
ありがとうございました。

問総務課 ☎(57)4112

- ◆アンケート回答者数 1,248人
- ◆避難者数 2,966人
- ◆回答率 42.1%

【1】ご回答いただいた方

(1) 年代

10代	38人	50代	167人
20代	11人	60代	489人
30代	54人	70代	264人
40代	157人	80代以上	54人

(2) 性別

男	638人
女	599人

(3) 避難訓練実施を何で知りましたか？

1. 区・自治会からのお知らせ	889人
2. 広報のぎ	401人
3. 町ホームページ	18人
4. 広報車	15人
5. 防災無線	18人
6. その他（友人・家族等）	41人

【2】避難方法

(1) 避難手段

1. 徒歩	1,077人
2. 自転車	59人
3. 自家用車	63人
4. その他（バイク・隣人の車等）	9人

(2) どなたと

1. 一人で	446人
2. 家族と	447人
3. 近所の方々と	265人
4. その他（友人・要配慮者等）	21人

【3】今回の全町避難訓練について

【良かったところ】

- 避難意識が高まったこと……………62人
- 避難場所がわかったこと……………41人
- 全町で実施したこと……………35人
- 避難体験できたこと……………33人
- 避難の手順が理解できたこと……………30人
- 体操の必要性がわかったこと……………16人
- 近所への声かけの必要性がわかったこと……………14人
- 町の災害用備蓄品を確認できたこと……………10人
- その他（防災無線を活用できたこと等）……………13人

【問題点（町への要望を含む）】

- 防災無線の音量を大きくしてほしい（設置基数を増やしてほしい、繰り返し放送してほしい、女性の声にしてほしい等）……………245人
- 訓練を今後も行ってほしい……………43人
- 広報車の音量を大きくしてほしい……………24人
- 避難所で何をして良いかわからない（体育館内で展示物、体育館での過ごし方等について説明してほしい等）……………24人

- 避難所が遠かったのが近くにしてほしい（本番では近い所に行きたい、線路を渡らないようにしてほしい等）……………23人
- 寒かったため実施時期を変更してほしい……………20人
- 課題を変更して実施してほしい……………19人
- 高齢者や乳幼児への配慮を考えてほしい（避難所の出入口に椅子（足・腰悪い人用）を設置、手すりや高齢者向けのトイレが必要等）……………16人
- 避難所を増やしてほしい……………10人
- その他
 - ・消防、警察、自衛隊等との合同訓練が見たかった
 - ・夜間訓練も実施してもらいたい
 - ・自治会未加入者への対応
 - ・訓練内容の説明が足らなかった
 - ・避難所内の訓練内容に工夫してほしい
 - ・災害時要配慮者の避難対応の見直し
 - ・初期消火や応急救護等の訓練も必要
 - ・訓練準備（広報、段取り等）の不足
 - ・公園への集合は無駄ではないか
 - ・水害に対応した訓練も必要ではないか

【自分で反省するところ】

- 食料等の備蓄をしておくべきであった……………30人
- 避難時の必需品を確認していなかった……………28人
- 避難時の準備ができていなかった……………20人
- 防災意識が低かった……………16人
- リュックを用意すべきであった……………10人
- その他（貴重品をまとめていなかった等）……………17人

【4】日常の防災対策について

- 備蓄している……………491人
- 飲料水(478人)、非常食(327人)、懐中電灯(23人)、携帯ラジオ(19人)、衣類(14人)、常備薬(12人)、簡易トイレ(7人)、その他(貴重品等)

【5】次回の避難訓練の開催時期について

最も多かった意見が1月の開催(104人)で、以下、5月(101人)、4月(98人)、10月(78人)、9月(64人)でした。

【全町避難訓練協力機関】

小中学校、消防団、野木分署、警察、民生委員、野木町議会、区長、自主防災組織、区役員、社会福祉協議会、ボランティア支援センター、婦人防火クラブ、建設業協同組合、工場協会、商工会、東京電力、NTT、医療機関(野木病院)、歯科医師会(上原歯科医院)、福祉施設(セルプ花、ひまわり荘、虹の舎)、栃木県、小山市、古河市

合計約 500人のご協力をいただきました。
ありがとうございました。

次回の開催時期は平成 30年 9月下旬から 10月上旬を予定しております。